

4. 仕事と家庭生活，地域活動・市民活動の両立について

(11) 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて

問11 あなたの生活における優先度について，あなたの**現実**と**理想**がいちばん近いものを，次の中から選んでください。**現実**と**理想**それぞれについて1～5のいずれかに○

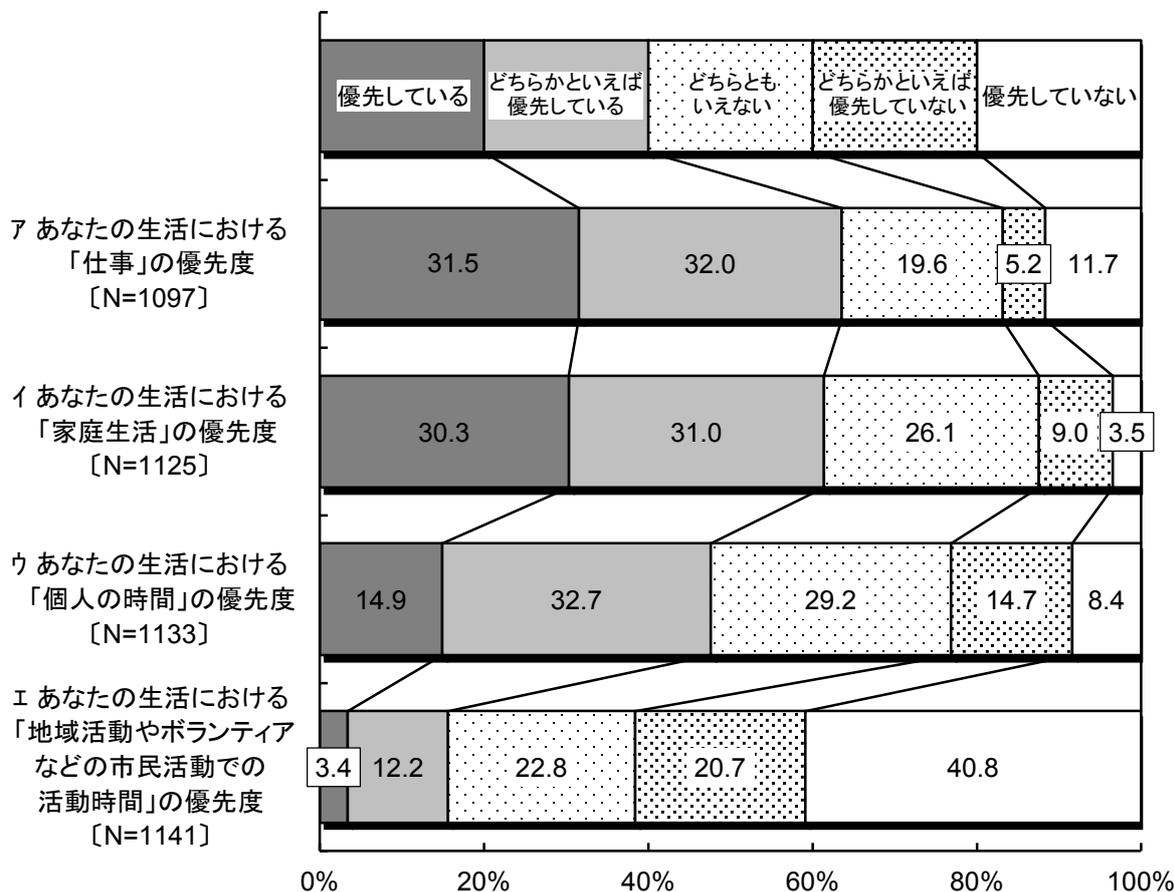
「仕事」「家庭生活」「個人の時間」
 ⇒『優先している』が『優先していない』より高い
 「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」
 ⇒『優先していない』が『優先している』より高い

【生活における**現実**の優先度】

■優先度	『優先している』	『優先していない』
ア 「仕事」の優先度	63.5%	16.9%
イ 「家庭生活」の優先度	61.3%	12.5%
ウ 「個人の時間」の優先度	47.6%	23.1%
エ 「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度	15.6%	61.5%

※「優先している」と「どちらかといえば優先している」を合わせて『優先している』，
 「優先していない」と「どちらかといえば優先していない」を合わせて『優先していない』とする。

11-1図 生活における<現実>の優先度〔全体〕

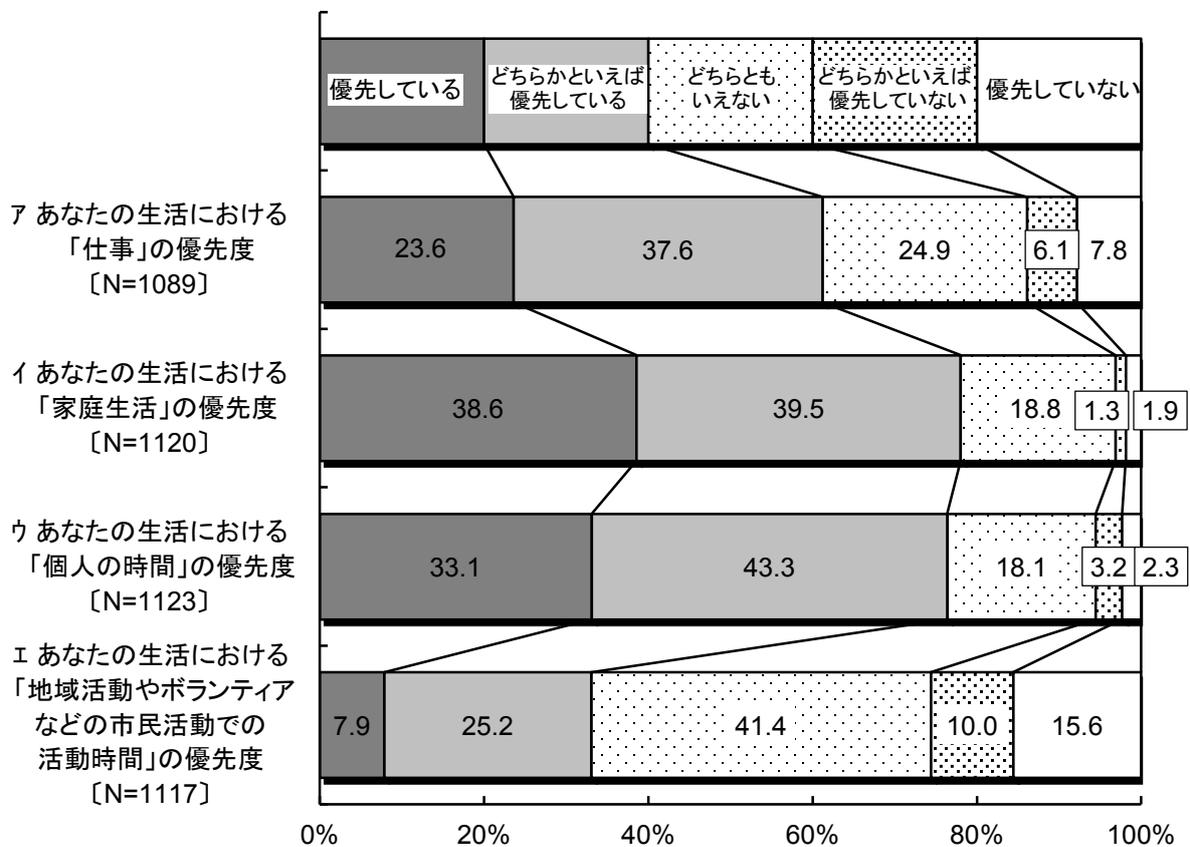


【生活における理想の優先度】

■優先度	『優先する』	『優先しない』
ア 「仕事」の優先度	61.2%	13.9%
イ 「家庭生活」の優先度	78.1%	3.2%
ウ 「個人の時間」の優先度	76.4%	5.5%
エ 「地域活動やボランティアなどの 市民活動での活動時間」の優先度	33.1%	25.6%

※「優先している」と「どちらかといえば優先している」を合わせて『優先する』、
「優先していない」と「どちらかといえば優先していない」を合わせて『優先しない』とする。

11-2図 生活における<理想>の優先度〔全体〕



ア あなたの生活における「仕事」の優先度（現実）

『優先している』は 63.5%

【全体】

「優先している」が31.5%、「どちらかといえば優先している」が32.0%で『優先している』は63.5%、「優先していない」が11.7%、「どちらかといえば優先していない」が5.2%で『優先していない』は16.9%と、『優先している』が大きく上回っている。

【性別】

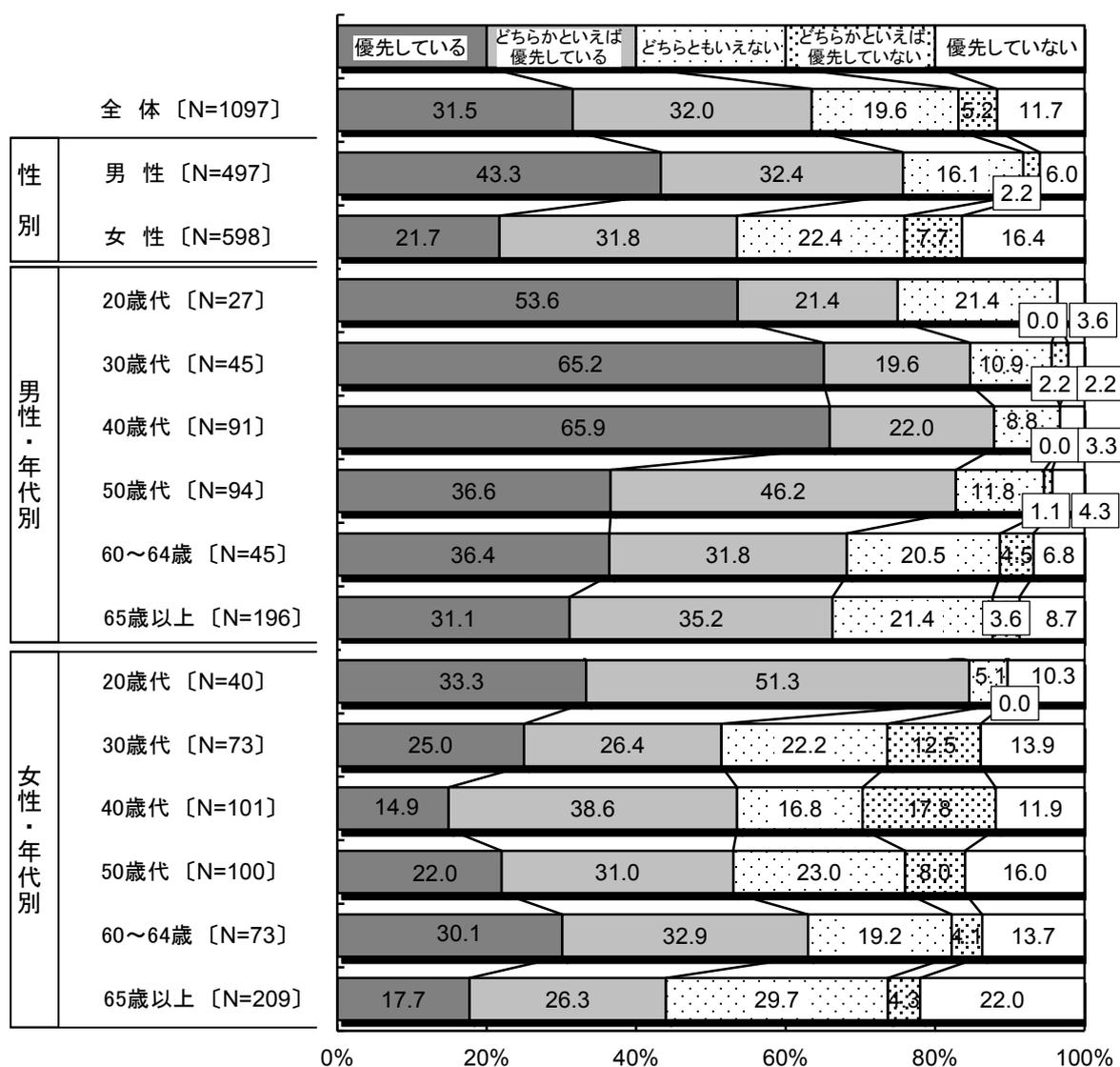
男性は、『優先している』が75.7%で女性の53.5%より22.2ポイント高い。

【性・年代別】

男性30歳代、男性40歳代は、「優先している」が65%を超え、他の年代に比べて高い。

女性40歳代は、「優先している」が14.9%、女性65歳以上17.7%で他の年代に比べて低い。

11-3図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
（ア あなたの生活における「仕事」の優先度）



イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度（現実）

『優先している』は61.3%

【全体】

「優先している」が30.3%、「どちらかといえば優先している」が31.0%で『優先している』は61.3%、「優先していない」が3.5%、「どちらかといえば優先していない」が9.0%で『優先していない』は12.5%と、『優先している』が大きく上回っている。

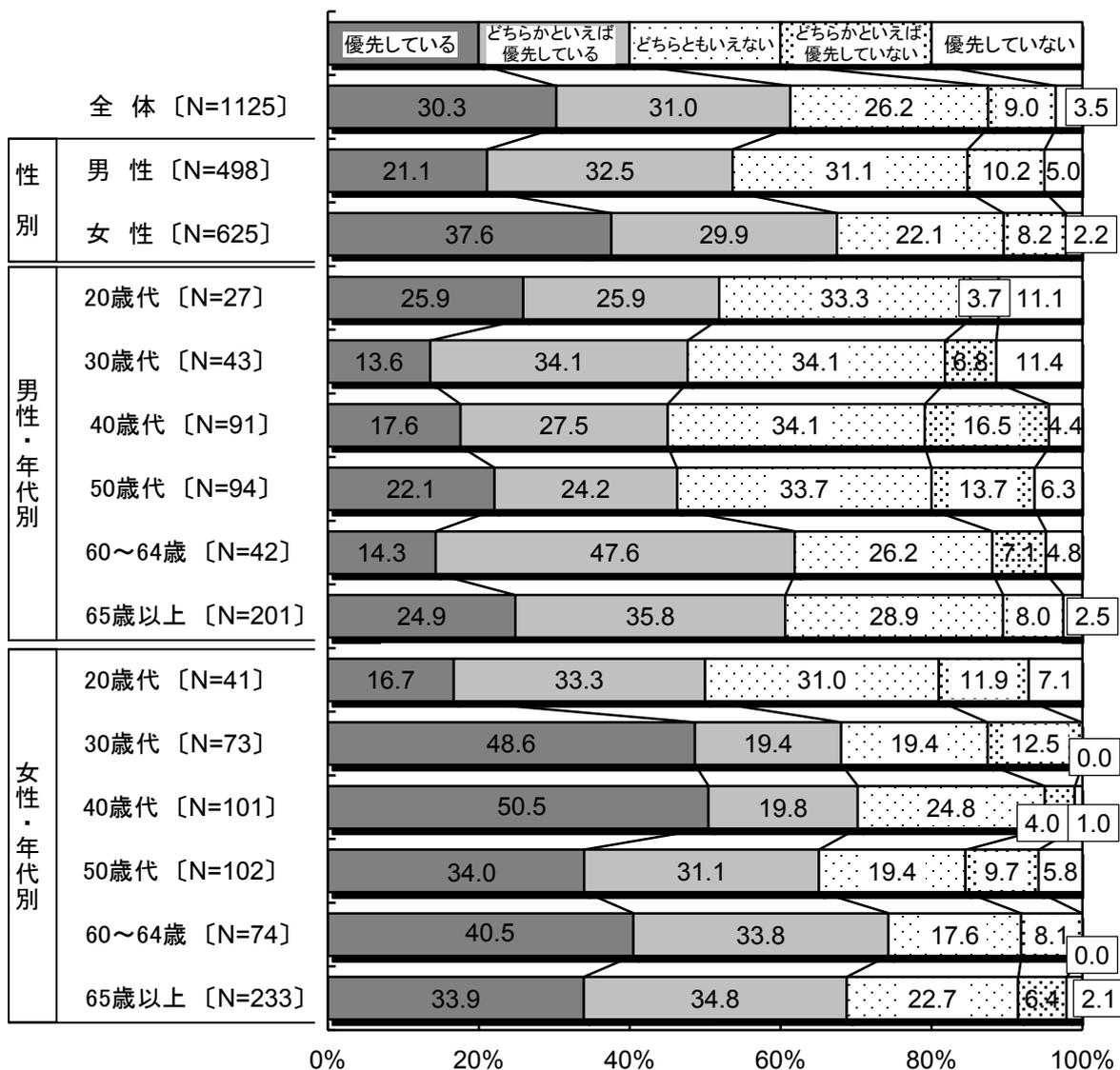
【性別】

男性は、『優先している』が53.6%、女性は67.5%で、『優先していない』を上回っている。女性は、『優先している』が男性より13.9ポイント高い。

【性・年代別】

男性30歳代、男性40歳代、男性50歳代、女性20歳代は、『優先している』が50.0%以下で他の年代に比べて低い。また、男性30歳代は、「優先している」が13.6%で他の年代に比べて低い。

11-4図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
（イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度）



ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度（現実）

『優先している』は47.6%

【全体】

「優先している」が14.9%、「どちらかといえば優先している」が32.7%で『優先している』は47.6%、「優先していない」が8.4%、「どちらかといえば優先していない」が14.8%で『優先していない』は23.2%と『優先している』が大きく上回っている。

【性別】

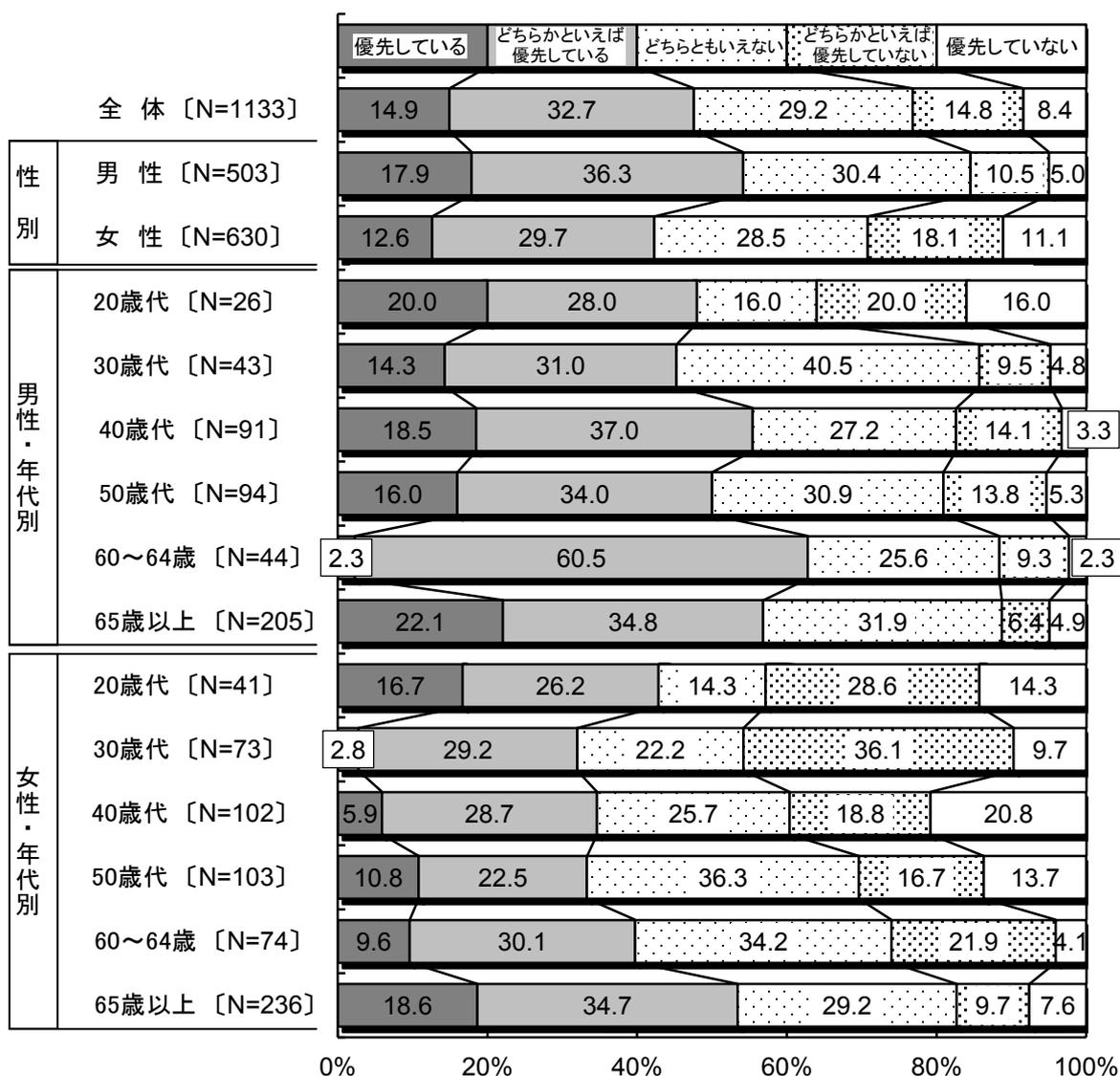
男性は、『優先している』が54.2%、女性は42.3%で、『優先していない』を大きく上回っている。男性は、『優先している』が女性より11.9ポイント高い。

【性・年代別】

男性60～64歳は、『優先している』が62.8%で他の年代より高い。

女性30歳代、女性50歳代は、『優先している』がそれぞれ32.0%、33.3%で他の年代に比べて低い。

11-5図 生活における優先度で現実にいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
（ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度）



エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度（現実）

『優先していない』は61.6%で『優先している』は15.6%

【全体】

「優先している」が3.4%、「どちらかといえば優先している」が12.2%で『優先している』は15.6%、「優先していない」が40.9%、「どちらかといえば優先していない」が20.7%で『優先していない』は61.6%と『優先していない』が大きく上回っている。

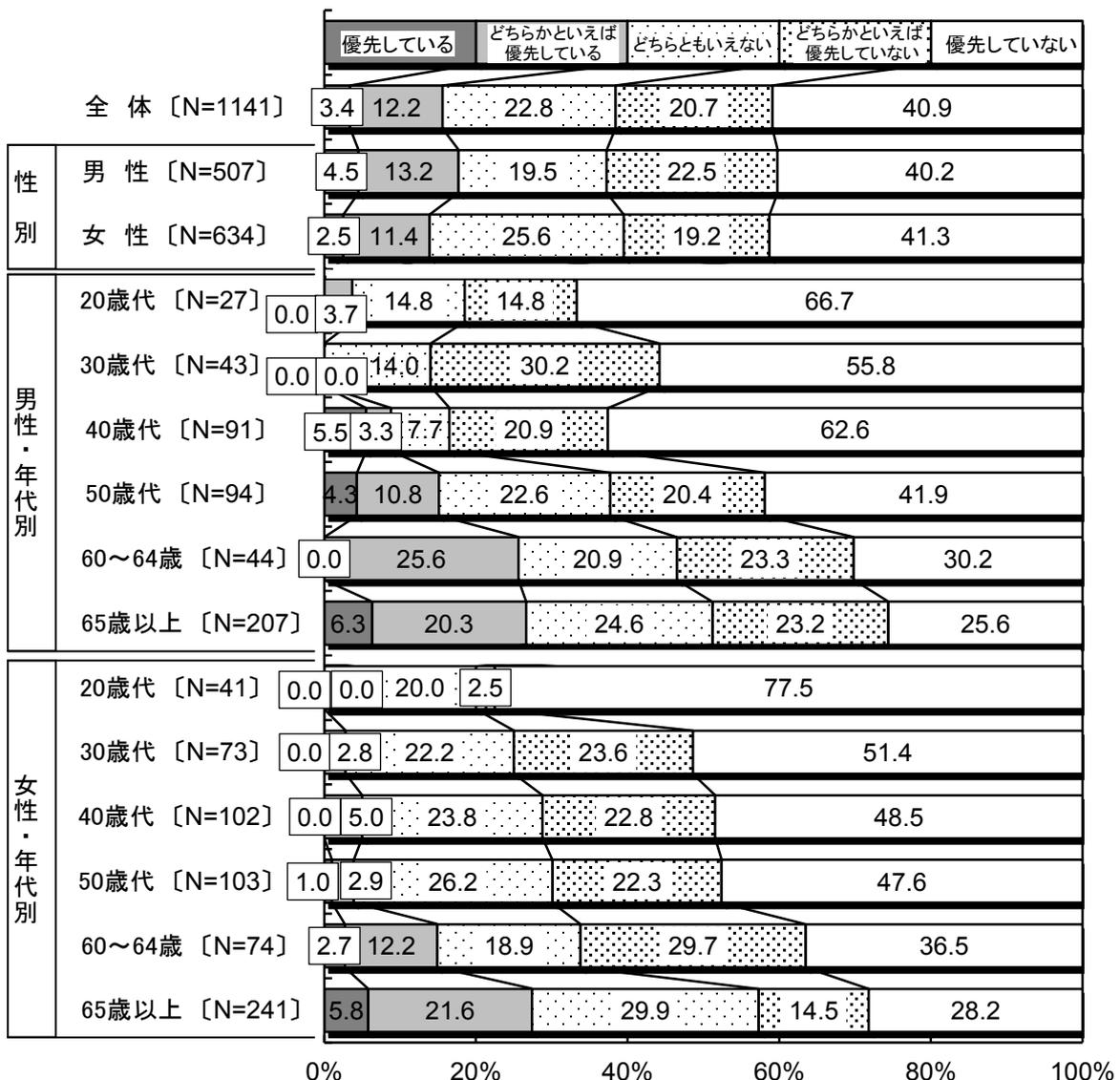
【性別】

男性は、『優先している』が17.7%で、女性の13.9%より3.8ポイント高い。女性は、「どちらともいえない」が25.6%で男性の19.5%より6.1ポイント高い。

【性・年代別】

男性60～64歳、男性65歳以上、女性65歳以上は、『優先している』が他の年代に比べて高く、男性20歳代、女性20歳代、男性30歳代、男性40歳代は、『優先していない』が80%以上で他の年代に比べて高い。

11-6図 生活における優先度で現実がいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
 (エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度)



ア あなたの生活における「仕事」の優先度（理想）

『優先する』は61.2%

【全体】

「優先する」が23.6%、「どちらかといえば優先する」が37.6%で『優先する』は61.2%、「優先しない」が7.8%、「どちらかといえば優先しない」が6.1%で『優先しない』は13.9%と『優先する』が大きく上回っている。

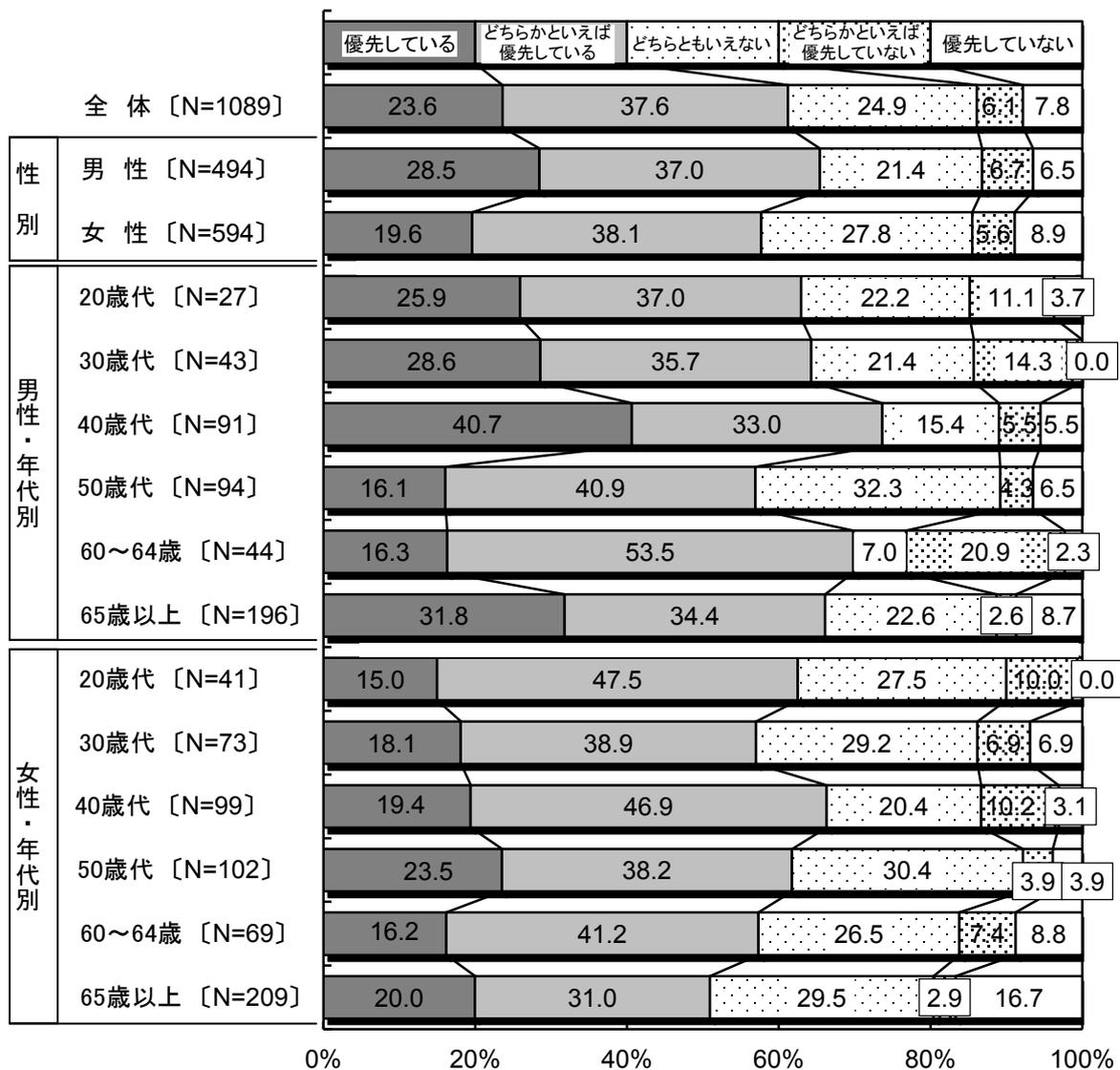
【性別】

男性は、『優先する』が65.5%で女性の57.7%より7.8ポイント高い。

【性・年代別】

男性40歳代は、『優先する』が73.7%で他の年代に比べて高い。また、「優先する」が40.7%で他の年代に比べ高い。

11-7図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
(ア あなたの生活における「仕事」の優先度)



イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度（理想）

『優先する』は 78.1%

【全体】

「優先する」が38.6%、「どちらかといえば優先する」が39.5%で『優先する』は78.1%、「優先しない」が1.9%、「どちらかといえば優先しない」が1.3%で『優先しない』は3.2%で『優先する』が大きく上回っている。

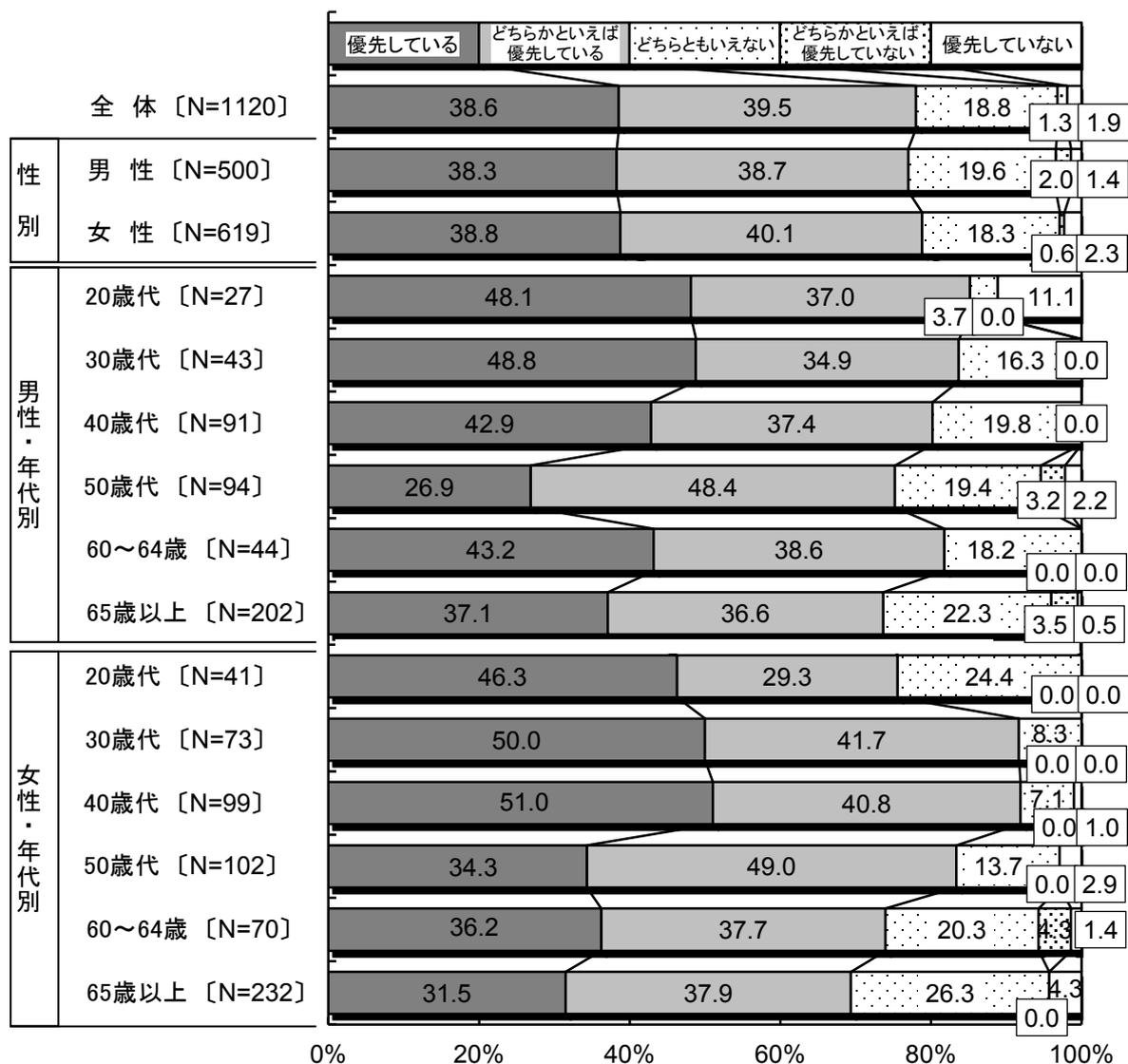
【性別】

特に大きな差異はない。

【性・年代別】

女性30歳代、女性40歳代は、『優先する』が90%程度で他の年代に比べて高い。また、男性50歳代は、「優先する」が26.9%で他の年代に比べて低い。

11-8図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
（イ あなたの生活における「家庭生活」の優先度）



ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度（理想）

『優先する』は76.4%

【全体】

「優先する」が33.1%、「どちらかといえば優先する」が43.3%で『優先する』は76.4%、「優先しない」が2.3%、「どちらかといえば優先しない」が3.2%で『優先しない』は5.5%と『優先する』が大きく上回っている。

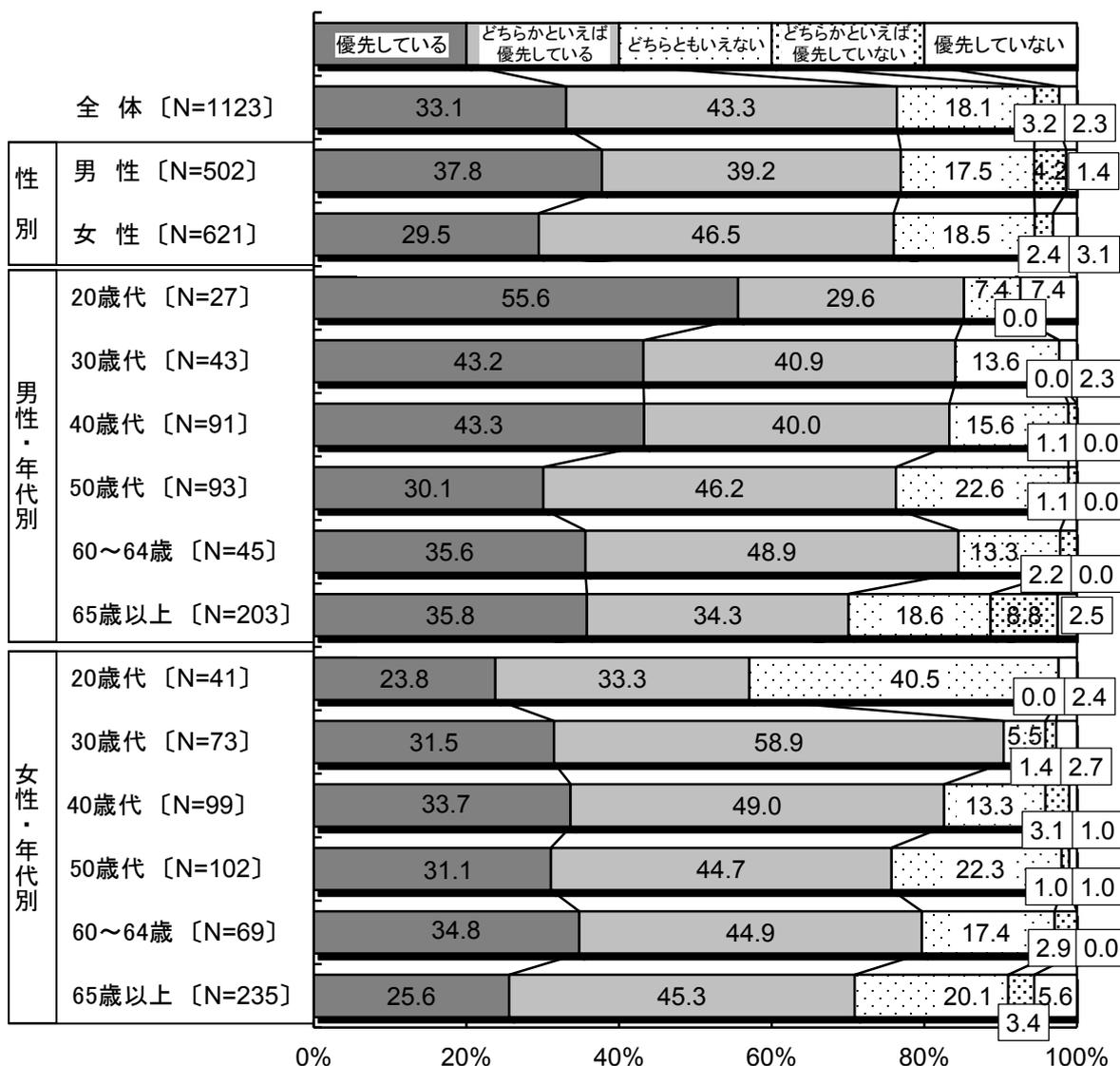
【性別】

男性は、「優先する」が37.8%で女性の29.5%より8.3ポイント高い。

【性・年代別】

男性20歳代は、「優先する」が55.6%で他の年代に比べて高く、『優先する』は女性30歳代が90.4%で他の年代に比べて高い。

11-9図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
（ウ あなたの生活における「個人の時間」の優先度）



エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度（理想）

『優先する』は33.1% 「どちらともいえない」が41.3%

【全体】

「どちらともいえない」が41.3%と最も高く、『優先する』は33.1%、『優先しない』は25.6%。

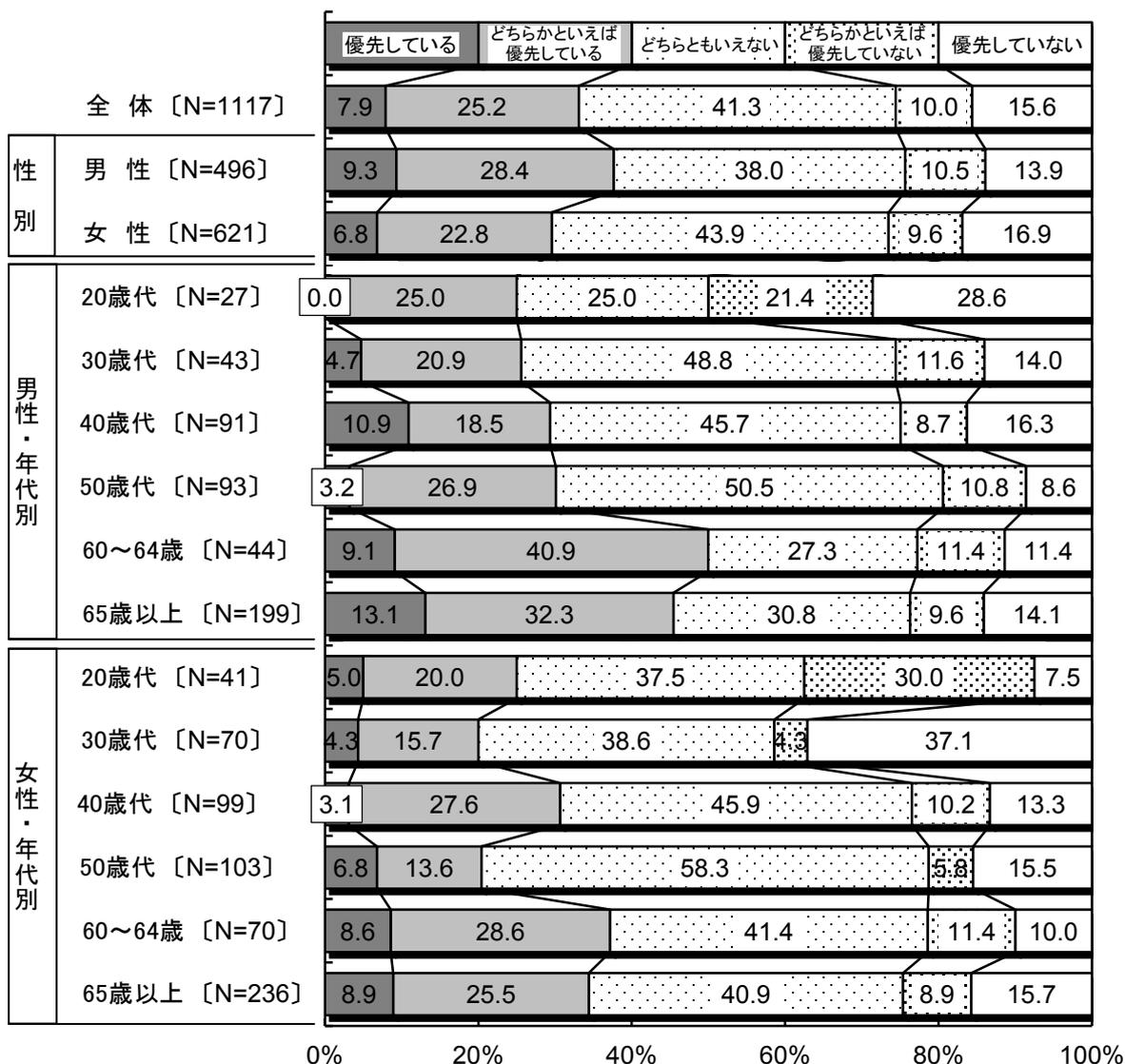
【性別】

男性は、『優先する』が37.7%で女性の29.6%より8.1ポイント高い。

【性・年代別】

男性60～64歳は、『優先する』が50.0%で他の年代に比べて高い。『優先しない』は男性20歳代が50%で最も高く、「優先しない」は女性30歳代が37.1%で最も高い。

11-10図 生活における優先度で理想にいちばん近いものについて〔全体・性別・性・年代別〕
 (エ あなたの生活における「地域活動やボランティアなどの市民活動での活動時間」の優先度)



■生活における優先度で現実と理想の比較について

【全体】

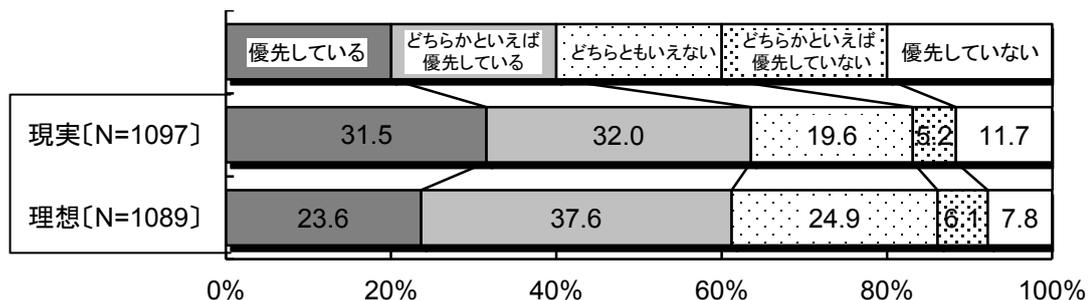
優先度で現実と理想の差が最も大きいのは、『個人の時間』で、「理想」が76.4%に対し、「現実」は47.6%で28.8ポイントの差がある。

次いで差が大きいのは『市民活動での活動時間』で、「理想」が33.1%に対し、「現実」は15.6%で17.5ポイントの差がある。『家庭生活』についても「理想」が78.1%に対し、「現実」は61.3%で16.8ポイントの差がある。

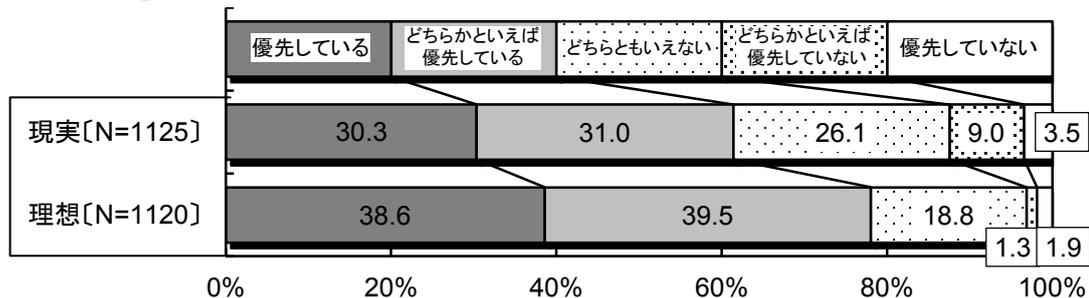
※「優先する」は現実では「優先している」、「優先しない」は現実では「優先していない」。

11-11図 生活における優先順位で現実と理想の比較について〔全体〕

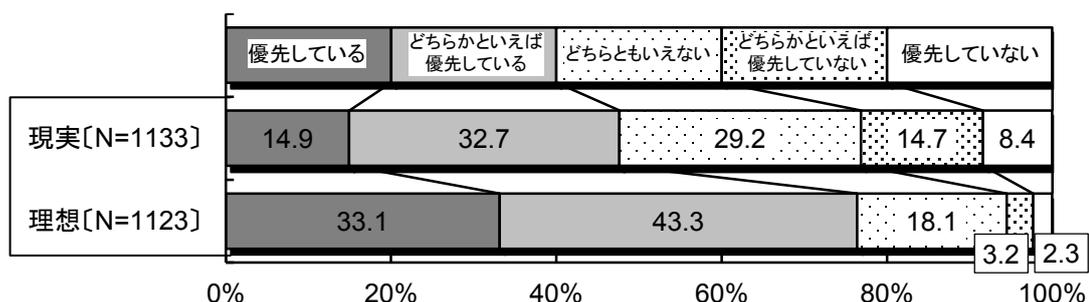
ア「仕事」の優先度



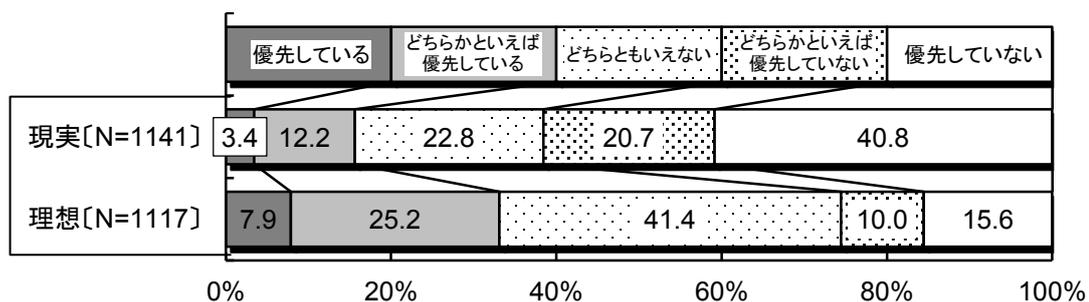
イ「家庭生活」の優先度



ウ「個人の時間」の優先度



エ「市民活動での活動時間」の優先度



(12) 男性が家事,育児,介護等に参加していくために必要なことについて〔複数回答〕

問12 あなたは、今後、男性が女性とともに、家事、育児、介護、地域活動やボランティアなどの市民活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
○は3つまで

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」	45.8%
「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」	37.3%
「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」	34.2%

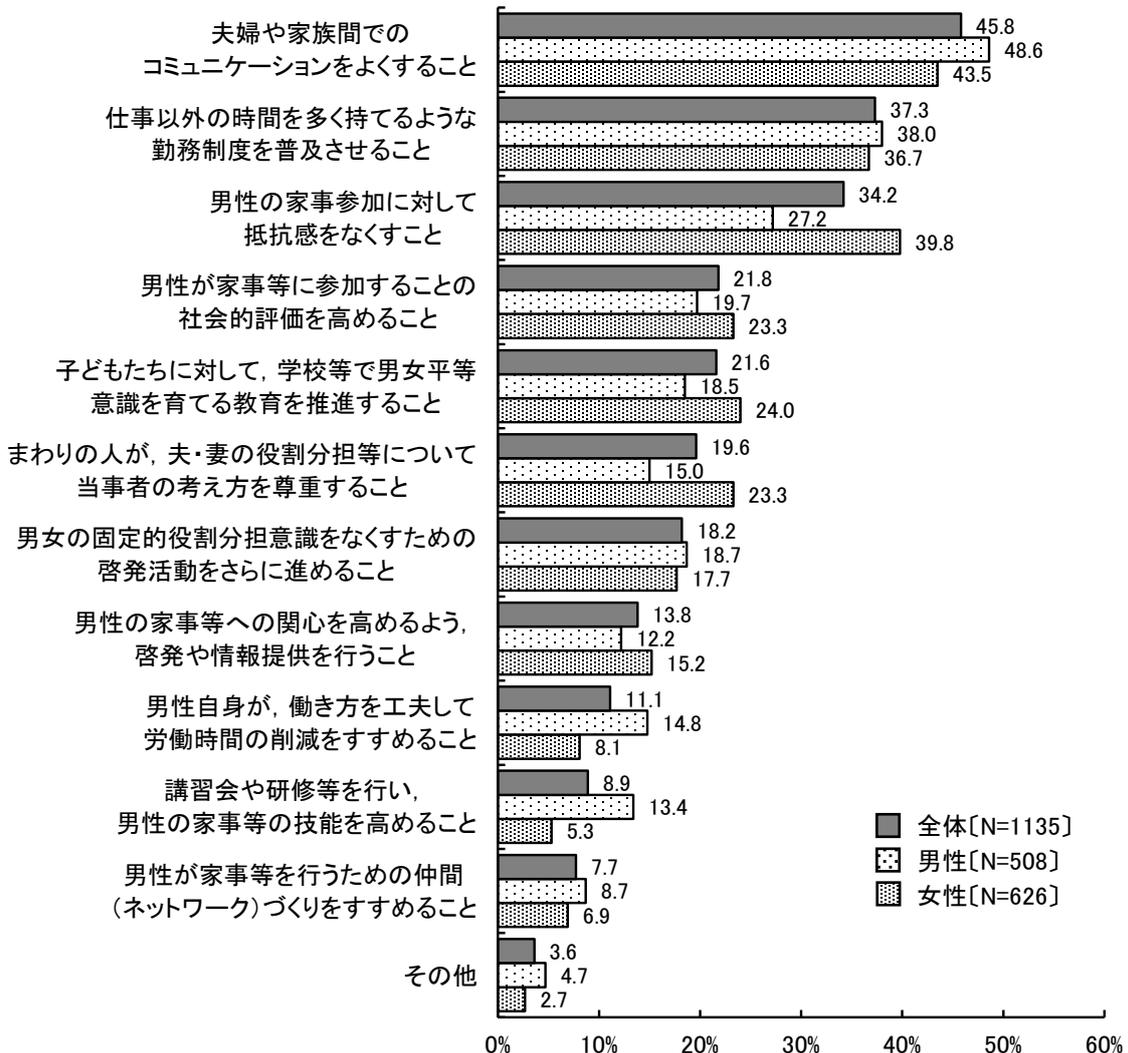
【全体】

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が45.8%と最も高く、「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」が37.3%、「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が34.2%で続いている。

【性別】

男性は、「講習会や研修等を行い、男性の家事等の技能を高めること」が13.4%、「男性自身が働き方を工夫して労働時間の削減をすすめること」が14.8%で女性に比べて高い。女性は、「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が39.8%、「まわりの人が、夫・妻の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること」が23.3%で男性に比べて高い。

12-1図 男性が家事,育児,介護等に参加していくために必要なことについて〔全体・性別〕



【年代別】

65歳以上は、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくすること」が53.7%で他の年代に比べて高い。20歳代は、「男性の家事参加に対して抵抗感をなくすこと」が44.8%で他の年代に比べて高い。20歳代、30歳代、40歳代は「仕事以外の時間を多く持てるような勤務制度を普及させること」が50%以上で他の年代に比べて高い。

また、40歳代は、「男性自身が働き方を工夫して労働時間の削減をすすめること」が20.4%で、他の年代に比べて高い。

12-2図 男性が家事、育児、介護等に参加していくために必要なことについて〔年代別〕

